

いきいき
まえばし人



北関東水泳競技大会で県中学新
浮島 直登さん・14歳
後家町

大好きな水泳に一意専心

5月に行われた北関東水泳競技大会。この男子一般バタフライの50歳と100歳の2種目で、自らの持つ県中学記録を更新した。「朝の練習の調子は良くなかったんです。まさか記録を更新できると思っていなかったのうれいす」

今でこそ水泳が得意だが、幼少のころは水が苦手な風呂に入るのも嫌だった。そのため、3歳から水に慣れるために通い始めたのがスイミングクラブ。最初はコーチの付き添いがないと水に入らなかったが、小学生に上がるころには、水に入ると楽しくて笑うようになっていた。

「いつの間にか水泳が大好きになっていました。練習で友達と遊べる時間が少ないのが寂しいけど、水泳をやめたいと思ったことは一度もないです」

水泳を通して社会のルールや礼儀も学んできた。常に謙虚な気持ちを持ち、自分を支えてくれる両親やコーチへの感謝も忘れない。

「全国大会で優勝するのが今の目標。そのためには課題を一つ一つクリアしていきたいと思っています」

現在、東中の3年。体を動かすのが好きで、昼休みには友達とバスケットボールを楽しむ。食欲旺盛で、お母さんの作るカレーが好物だ。

「好きな言葉は一意専心。これからも水泳に集中して取り組み、もっと上を目指して頑張ります」

練習の一かき一かきを大切に、あこがれのオリンピックへの道を真っすぐに登って行ってほしい。

をやめたいと思ったことは一度もないです」

水泳を通して社会のルールや礼儀も学んできた。常に謙虚な気持ちを持ち、自分を支えてくれる両親やコーチへの感謝も忘れない。

「全国大会で優勝するのが今の目標。そのためには課題を一つ一つクリアしていきたいと思っています」

現在、東中の3年。体を動かすのが好きで、昼休みには友達とバスケットボールを楽しむ。食欲旺盛で、お母さんの作るカレーが好物だ。

「好きな言葉は一意専心。これからも水泳に集中して取り組み、もっと上を目指して頑張ります」

練習の一かき一かきを大切に、あこがれのオリンピックへの道を真っすぐに登って行ってほしい。



ツツジの里でにぎやかに

6月6日、大沼湖畔あかぎ広場で、赤城山つつじ祭りが行われました。さわやかな晴天の下、たくさんの方が来場。ジャンケン大会やチンドンの演奏、新鮮な牛乳の無料配布などが行われました。ツツジは7月上旬まで楽しめます。

身近にアートを感じる



5月22日から30日まで、粕川アートフェスティバルを開催。中之沢美術館などの14会場に、粕川地区在住のアーティストらが絵画や彫刻などを展示。アートの世界を身近に感じていました。

前橋産の香りこ包まわて

6月4日、商工会議所で前橋産芋焼酎「赤城の恵」完成発表会が開かれました。関係者からは昨年の人気を上回りたいとする意気込みの声も。芋の甘い香りに包まれた試飲会では、参加者がことしの出来具合に顔をほころばせていました。



クローズアップ



行政自治委員に市政説明

5月28日に、市民と行政を結ぶパイプ役、行政自治委員の事務連絡会議を総合福祉会館で開催。功労者表彰に続き、会議では高木市長や市の担当者が平成22年度の市政の概要などを説明しました。



全員の心を1つにして

わたしたちの荒砥中は、前橋市の東部に位置しています。西に荒砥川が流れ、北には美しい赤城山の姿を間近に見ることが出来ます。周辺には田畑が広がり、昔は桑畑も多くあったそうです。前橋総合運動公園や大室公園などの施設もあり、環境に恵まれた学校です。荒砥中の良いところは、日々の授業や部活動、掃除など、何事にもまじめに一生懸命取り組むことです。中体連の開会式では、どの中学校よりも大きな声で「若い力」を熱唱。また、クラス対抗の

このような伝統をこれからも大切に、さらなる素晴らしい学校になるよう、わたしたち在校生が努力していきたいと思えます。



2台の車椅子を寄贈

わたしたちの学校 ニュース

生徒会長 峰村 成さん

荒砥中